



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月10日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役会長兼経営管理本部長 (氏名) 並木 昭憲 TEL 03(5649)1185
 半期報告書提出予定日 2024年10月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	1,109	8.8	△47	-	△48	-	△25	-	△24	-	△21	-
2024年2月期中間期	1,019	2.8	△19	-	△19	-	△13	-	△13	-	△17	-

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	△5.85	△5.85
2024年2月期中間期	△3.08	△3.08

(注) 2024年2月期中間期及び2025年2月期中間期の希薄化後1株当たり中間損失については、新株予約権の行使が1株当たり中間損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有していません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	3,751	2,818	2,853	76.1
2024年2月期	3,550	2,826	2,860	80.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	9.00	-	0.00	9.00
2025年2月期	-	0.00	-	-	-
2025年2月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,729	14.1	271	50.9	271	51.8	206	80.7	206	79.8	50.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	4,597,400株	2024年2月期	4,583,100株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	561,001株	2024年2月期	570,601株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	4,029,331株	2024年2月期中間期	4,135,689株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結包括利益計算書	5
(中間連結会計期間)	5
(第2四半期連結会計期間)	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期におけるわが国経済は、直近で実質賃金に若干の回復が見られたものの、内需の牽引役である家計消費の伸び悩み、人手不足に伴う人件費の上昇、エネルギーや原材料価格の高止まりなどが企業経営を圧迫しており、当社の主要顧客である外食・小売などの内需型サービス産業においては、先行き不透明な環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下「MSR」という。)」の当第2四半期連結会計期間の売上収益は、前第2四半期連結会計期間と比較し13.1%増、SaaSは9.2%増、コンサルティング・その他(以下「コンサル」という。)は10.5%減となっております。以上の結果、売上収益で7.4%増、売上総利益で3.4%増、営業損益は4百万円減の76百万円の黒字となりました。

売上面では、前第2四半期連結会計期間と比較し、MSRは今期の活動方針に「MSRの再構築」を掲げ取引拡大に傾注してきたことが功を奏し、通常調査が10.5%増、海外関連調査は29.7%増となり、当第1四半期連結会計期間に引き続き増収となっております。SaaSも従業員エンゲージメント調査 *tenpocket* チームアンケートが牽引して増収に転じた一方、コンサルは今年度の事業再構築補助金の第1回採択が10月以降と見込まれるため関連売上が減少致しました。

受注高においては、前第2四半期連結会計期間と比較し、MSRが24.4%増、SaaSが54.7%増、コンサルも13.3%増と全て増注となり、全体では24.4%増となっております。

生産面では、物価上昇に伴うモニター謝礼や労務費の増加に対応するため、顧客との価格交渉及び調査条件の緩和によるモニターの活性化やレポートチェックへのAI活用等による1レポートあたり生産コストの抑制に努めており、MSRの利益率も回復基調にあります。また、成長分野である海外関連調査の増加を見据えたオペレーションの強化なども進めております。

管理面では、前第2四半期連結会計期間と比較し、原価が9.6%増、販売費及び一般管理費が0.7%減となりました。原価は、人員増及び昇給に伴う労務費の増加、MSRのレポート単価の上昇、IT関連投資の拡大により増加致しました。一方、販売費及び一般管理費は、人件費が上昇したものの、広告宣伝費の抑制や貸倒引当金繰入額の減少等により若干の削減となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上収益1,109,047千円(前年同期比8.8%増)、営業損失47,109千円(前年同期は18,634千円の営業損失)、税引前中間損失47,937千円(前年同期は18,892千円の税引前中間損失)、親会社の所有者に帰属する中間損失23,583千円(前年同期は12,722千円の親会社の所有者に帰属する中間損失)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末の資産合計は、主に営業債権及びその他の債権が104,306千円減少したものの、現金及び現金同等物が191,904千円、棚卸資産が17,237千円、その他の無形資産が31,047千円、使用権資産が41,686千円、繰延税金資産が14,893千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて200,768千円増加し、3,750,756千円となりました。

負債については、主に営業債務及びその他の債務が66,241千円、リース負債が41,631千円、借入金が95,840千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて208,924千円増加し、932,915千円となりました。

資本については、親会社の所有者に帰属する中間損失23,583千円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べて8,157千円減少し、2,817,841千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ191,904千円増加し、521,602千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、174,684千円の収入(前年同期は39,714千円の支出)となりました。これは、税引前中間損失の計上47,937千円があったものの、減価償却費及び償却費の計上53,492千円、営業債権及びその他の債権の減少103,906千円、営業債務及びその他の債務の増加66,684千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、69,748千円の支出(前年同期比22,627千円減)となりました。これは、無形資産の取得による支出64,397千円、有形固定資産の取得による支出5,601千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、86,726千円の収入(前年同期は247,607千円の支出)となりました。これは、主に短期借入金の純増加額95,840千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月8日の「2024年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	329,697	521,602
営業債権及びその他の債権	540,577	436,271
その他の金融資産	500	500
棚卸資産	20,204	37,441
その他の流動資産	61,885	58,458
流動資産合計	952,864	1,054,272
非流動資産		
有形固定資産	29,433	35,275
使用権資産	37,979	79,665
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	233,252	264,299
その他の金融資産	55,348	61,240
繰延税金資産	17,221	32,114
非流動資産合計	2,597,124	2,696,484
資産合計	3,549,988	3,750,756
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	150,000	245,840
リース負債	32,683	33,484
営業債務及びその他の債務	500,917	567,158
未払法人所得税等	832	895
引当金	10,158	10,158
その他の流動負債	11,189	12,139
流動負債合計	705,779	869,674
非流動負債		
リース負債	3,802	44,632
引当金	14,410	18,609
非流動負債合計	18,212	63,240
負債合計	723,990	932,915
資本		
資本金	74,540	78,115
資本剰余金	2,037,731	2,041,170
自己株式	△364,691	△358,555
その他の資本の構成要素	△26,472	△22,605
利益剰余金	1,138,903	1,115,321
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,860,010	2,853,445
非支配持分	△34,013	△35,604
資本合計	2,825,998	2,817,841
負債及び資本合計	3,549,988	3,750,756

(2) 要約中間連結包括利益計算書
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上収益	1,019,210	1,109,047
売上原価	△719,534	△829,714
売上総利益	299,676	279,333
販売費及び一般管理費	△341,778	△329,138
その他の収益	23,468	3,589
その他の費用	—	△893
営業損失(△)	△18,634	△47,109
金融収益	17	84
金融費用	△276	△912
税引前中間損失(△)	△18,892	△47,937
法人所得税費用	5,900	23,399
中間損失(△)	△12,992	△24,538
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△984	5,147
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△984	5,147
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,205	△1,915
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△3,205	△1,915
税引後その他の包括利益	△4,189	3,232
中間包括利益	△17,181	△21,307
中間損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△12,722	△23,583
非支配持分	△271	△956
中間損失(△)	△12,992	△24,538
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△14,549	△19,715
非支配持分	△2,632	△1,591
中間包括利益	△17,181	△21,307
1 株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間損失(△) (円)	△3.08	△5.85
希薄化後1株当たり中間損失(△) (円)	△3.08	△5.85

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
売上収益	635,238	682,338
売上原価	△409,384	△448,702
売上総利益	225,855	233,636
販売費及び一般管理費	△157,033	△155,879
その他の収益	11,802	1,962
その他の費用	—	△3,453
営業利益	80,624	76,265
金融収益	17	84
金融費用	△109	△521
税引前四半期利益	80,533	75,828
法人所得税費用	△28,060	△27,096
四半期利益	52,473	48,732
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	2	1,172
純損益に振り替えられることのない 項目合計	2	1,172
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,254	△980
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△2,254	△980
税引後その他の包括利益	△2,252	192
四半期包括利益	50,220	48,924
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	52,490	49,219
非支配持分	△17	△487
四半期利益	52,473	48,732
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	51,490	49,326
非支配持分	△1,270	△403
四半期包括利益	50,220	48,924
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.94	12.21
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	12.87	12.20

(3) 要約中間連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2023年3月1日時点の残高	57,290	2,021,344	△155,228	△27,960	1,098,677	2,994,122	△31,305	2,962,817
中間損失(△)	—	—	—	—	△12,722	△12,722	△271	△12,992
その他の包括利益	—	—	—	△1,828	—	△1,828	△2,361	△4,189
中間包括利益合計	—	—	—	△1,828	△12,722	△14,549	△2,632	△17,181
新株の発行	4,000	4,000	—	—	—	8,000	—	8,000
自己株式の取得	—	△748	△212,506	—	—	△213,254	—	△213,254
自己株式の処分	—	△115	3,043	—	—	2,928	—	2,928
配当金	—	—	—	—	△38,504	△38,504	—	△38,504
所有者との取引額合計	4,000	3,137	△209,463	—	△38,504	△240,830	—	△240,830
2023年8月31日時点の残高	61,290	2,024,481	△364,691	△29,787	1,047,451	2,738,744	△33,937	2,704,807

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2024年3月1日時点の残高	74,540	2,037,731	△364,691	△26,472	1,138,903	2,860,010	△34,013	2,825,998
中間損失(△)	—	—	—	—	△23,583	△23,583	△956	△24,538
その他の包括利益	—	—	—	3,867	—	3,867	△635	3,232
中間包括利益合計	—	—	—	3,867	△23,583	△19,715	△1,591	△21,307
新株の発行	3,575	3,575	—	—	—	7,150	—	7,150
自己株式の処分	—	△136	6,136	—	—	6,000	—	6,000
所有者との取引額合計	3,575	3,439	6,136	—	—	13,150	—	13,150
2024年8月31日時点の残高	78,115	2,041,170	△358,555	△22,605	1,115,321	2,853,445	△35,604	2,817,841

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間損失(△)	△18,892	△47,937
減価償却費及び償却費	42,655	53,492
金融収益	△17	△84
金融費用	276	549
棚卸資産の増減額(△は増加)	△44,815	△17,237
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	92,609	103,906
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	11,003	66,684
その他	△25,440	1,172
小計	57,379	160,545
利息及び配当金の受取額	17	84
利息の支払額	△276	△549
法人所得税の還付額	—	14,869
法人所得税の支払額	△96,834	△265
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,714	174,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,773	△5,601
無形資産の取得による支出	△63,602	△64,397
貸付金の回収による収入	—	250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,375	△69,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	95,840
配当金の支払額	△38,504	—
長期借入金の返済による支出	△69,472	—
株式の発行による収入	8,000	7,150
自己株式の取得による支出	△213,626	—
リース負債の返済による支出	△15,254	△16,264
その他	31,249	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,607	86,726
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△379,696	191,662
現金及び現金同等物の期首残高	666,153	329,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	339	243
現金及び現金同等物の中間期末残高	286,796	521,602

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。